

東北デスティネーションキャンペーン～「TOHOKU サポーター」大募集中です～

2020年10月30日、ホテルメトロポリタン仙台において、東北デスティネーションキャンペーン推進協議会とJR東日本による共同記者会見を開催しました。協議会からは、東北デスティネーションキャンペーン（以下、「東北DC」）を応援する「TOHOKU サポーター」の募集についてプレスを行いました。

「TOHOKU サポーター」は、東北にお住いの方を対象とした「Welcome to TOHOKU隊」、東北6県以外にお住いの方を対象とした「TOHOKU Fan」の総称です。

●「Welcome to TOHOKU隊」とは

東北6県にお住いの皆様を対象に、東北DC期間中に東北を訪れたお客様に対するおもてなしを宣言し、実践していただきます。

※登録いただくと認定証を発行。認定証を交換窓口に提示いただくと、オリジナル缶バッジを差し上げます。
(企業、団体は郵送します。)

●「TOHOKU Fan」とは

東北6県以外にお住まいの方が対象です。SNSやブログで東北の魅力を発信したり、実際に東北を旅行してその魅力を家族や友人に伝えるなど、域外から東北DCを応援いただきます。

※登録いただくと認定証を発行。
(企業、団体は郵送します。)

「Welcome to TOHOKU隊」「TOHOKU Fan」とともに、2021年8月31日まで募集します。
登録いただいた内容は東北DCホームページ上で公開し、皆様で東北DCを盛り上げていきます。
多くの皆様のご登録をお待ちしています。[\(https://www.tohokukanko.jp/dc/\)](https://www.tohokukanko.jp/dc/)



【サンドウィッチマンが「スペシャルサポーター」に就任!】

東北の復興に向けて熱い思いを持つサンドウィッチマンが「スペシャルサポーター」に就任。東北DCを応援します。そのサンドウィッチマンと東北6県の県民の皆様にご出演いただいた、東北DCに向けた機運醸成動画を「東北DCホームページ」で公開しています。是非ご覧ください。



【記者会見の様子】



【認定証と缶バッジ】



東北DCのパンフも作成しました。掲出いただける方はご連絡ください!

東北デスティネーションキャンペーン 旅行会社キャラバンを実施しました (10月8日～9日・10月13日～15日)

2021年4月1日から始まる東北DCに向けて、北海道（札幌）、大阪、名古屋、首都圏の計32箇所への旅行会社キャラバンを実施しました。

訪問先では、東北DCの概要や特別企画等についてプレゼンテーションを行い、商品造成に向けた意見交換を行いました。それぞれのエリアでは、コロナ禍の中、東北への注目度が高まりお客様のニーズが急増していることから、「来春の東北DCに向けて商品造成と情報発信をして盛り上げて行きたい」とのコメントを多数いただきました。



【プレゼンテーションの様子】

「東北・新潟応援！絆キャンペーン～旅を楽しもう～」の情報発信に取り組んでいます

● 新たな旅の楽しみ方を提案しています

様々なテーマに沿った東北・新潟の旅の楽しみ方を、絆キャンペーン特設サイト内の特集記事でご提案しています。

<https://www.tohokukanko.jp/kizuna>

現在は、国民的アニメの舞台を巡る旅やGo To Eat キャンペーンを利用できる店舗等をご紹介しています。

今後はスポーツやテレビドラマ、工場見学等新たなテーマの旅をご紹介する予定です。



【ホームページ内の特集記事】

● 情報発信を強化しています

交通媒体での情報発信を10月下旬より行っております。

① トレインチャンネル（首都圏、11月上旬～）

山手線をはじめとした首都圏のJR線車内での、東北・新潟の観光関係事業者が出演する動画（北東北編と南東北編の2種類）を放映します。

② 駅構内サイネージ

（首都圏・東北・新潟、10月下旬～）

首都圏及び東北・新潟のJR駅構内と仙台市営地下鉄駅構内に設置されているデジタルモニターで、動画を放映します。

③ 列車内の中吊り広告（東北・新潟、10月下旬～）

動画出演者のメッセージを添えた中吊りを掲出します。



【駅構内
サイネージ】



【中吊り広告】



【マスクケース】

● お客様にも安心な旅の環境づくりにご協力をお願いしています

観光案内所にて、マスクの携帯に便利なマスクケースをお配りしております。

＜配布箇所＞「東北の観光案内所ネットワーク」加盟案内所

<https://www.city.sendai.jp/tohokurenke-kikaku/tohokukankounetwork.html> ※函館市観光案内所を除く。

ツーリズムEXPOジャパンに出展しました（2020年10月29日～11月1日）

10月29日から11月1日にかけて沖縄県で開催された「ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄」に出展しました。東観推ブースでは、東北6県及び新潟県の四季をメインにPRするとともに、山形蔵王の樹氷を体験できるVRコーナーを設置するなど、東北・新潟でしか体験できないコンテンツをメインに情報発信を行いました。

また、東北と沖縄県の連携を進めるため、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローとモデルコースを作成し、イベントにおいても旅行会社や一般来場者に情報提供を行いました。

また、10月29日には一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会（JSTO）が開催した「ライブ動画配信イベント」に紺野専務が出演し、JSTO新津代表理事と対談を行い、東北の魅力・現状などについてお話ししました。対談の内容は以下URLから視聴することができますので、是非ご視聴ください。（<https://youtu.be/YXM6mUHE70M>）

2021年1月7日～9日には「TEJ東京商談会／トラベルフェスタ」の開催が予定されております。当該イベントにも出展予定ですので、引き続き東北6県及び新潟県の魅力を全国の皆様にお届けできるよう準備を進めてまいります。



【VR体験コーナーの様子】



【東北・新潟ブースの様子】

風評被害払拭を目的とした在日インフルエンサー・メディア招請（東北太平洋沿岸）を行いました

太平洋沿岸地域の現在の姿や美しい自然等の魅力を発信し、2021年度以降の継続的な誘客に繋げることを目的に、アメリカやアジア各国出身の在日インフルエンサー招請を実施しました。

【仙台コース（2020年10月19日～20日）】

仙台コースでは、中国人インフルエンサー1名を招請し、秋保大滝訪問や秋保ワイナリーでのバーベーキュー等を体験して頂きました。参加者からは、コロナ禍ではアウトドアでの体験は非常に人気があるコンテンツになると高く評価して頂きました。



【秋保大滝】

【福島コース（2020年10月22日～23日）】

福島コースでは、タイ人インフルエンサー2名を招請し、アクアマリンふくしま等を訪問して頂きました。参加者からは、アクアマリンふくしまのような大きな水槽はタイ人には新鮮で好評だと思う、と高い評価を頂きました。



【アクアマリンふくしま】

【青森コース（2020年10月23日～24日）】

青森コースでは、香港人インフルエンサー1名を招請し、八食センターへの訪問や酒蔵見学等を行って頂きました。参加者からは、海産物について、香港では同程度のクオリティーのものを食べることはなかなかできないため、香港からの観光客は非常に喜ぶとの評価を頂きました。

また、酒蔵見学では、酒造りの工程について説明受けた後、その内容を加えながらYouTube動画の撮影を実施頂きました。

【宮城コース（2020年10月25日～26日）】

宮城コースでは、マレーシア人インフルエンサー1名を招請し、気仙沼シャークミュージアムやさんさん商店街、石ノ森漫画館等を訪問して頂きました。

休日にもかかわらず訪問先の中には閑散としている施設もあったため、参加者は「コロナウイルスの影響だと思われるでの、自分が発信する情報により、少しでも商店街に活気が戻ってきてほしい。」と意欲的な声を頂きました。

【岩手コース（2020年10月27日～28日）】

岩手コースでは、アメリカ人インフルエンサー1名を招請し、浄土ヶ浜や龍泉洞等を訪問して頂きました。

浄土ヶ浜での「青の洞窟」見学では、自然が作り出した神秘的な風景を間近で見ながら、ウミネコへの餌付けを体験して頂きました。参加者からは、外国人から見て興味深い組み合わせであるとの評価を頂きました。



【八食センター】



【さんさん商店街】



【浄土ヶ浜】

11月実施の秋田コース・山形コースは、次号の「旅東北NEWS」でお知らせいたします。

在日イタリア人のインフルエンサー招請を行いました（2020年10月19日～20日）

四季をはじめとする東北の魅力を幅広く発信し、2021年度以降の継続誘客に繋げることを目的に、在日イタリア人のインフルエンサー1名による仙台市内の招請を行いました。仙台城址、瑞鳳殿を訪れ、伊達武将隊と共に甲冑を着用しての撮影を行いました。参加者からは、写真映えもしてよかったとの評価をいただきました。また、本コースではアニメの聖地巡りも行いました。参加者からは、店舗スタッフがポーズやせりふのリクエストにも対応してくれる等の対応が良かったとの意見を頂きました。11月は、引き続き各県を対象とした招請事業を実施する予定です。



【仙台城址】

旅行会社及びランドオペレーター等の招請を行いました（2020年10月4日～8日）

【南東北トレッキングコース】

主にSIT (Special Interest Tour: 目的に特化した旅行) を求める市場の旅行会社やランドオペレーター等向けに招請ツアーを実施し、東北地方のトレッキングを楽しめるスポットを中心としたコースを視察していただきました（10社参加）。宮城オルレ気仙沼唐桑コースや、山形蔵王、五色沼等の視察を通じて、東北地方のトレッキングや登山のコンテンツの魅力を感じていただきました。



【宮城オルレ（気仙沼唐桑コース）】

【南東北精神文化コース】

既に東北の旅行商品の造成経験があり、新たなコンテンツを探している旅行会社やランドオペレーター等を対象に、招請ツアーを実施しました（9社参加）。南東北の、羽黒山や座禅体験等、精神文化を体験できるコンテンツの体験を通じて、商品造成の参考としていただきました。

海外富裕層事業として、国内旅行会社及びコンシェルジュ担当者の招請を行いました（2020年10月27日～11月1日）

海外富裕層の商品造成提案を担う国内旅行会社向けに、富裕層ニーズにマッチした東北の観光資源の視察を通じて東北の良さを知っていただき、また旅行会社と東北の観光事業者との関係も構築することで商品造成や誘客につなげることを目的として、南東北エリアにて招請および意見交換会を実施しました（5社参加）。

福島ではエビスサーフィットのドリフト体験や、大七酒造の見学と試飲等、宮城では斎理屋敷での和太鼓体験、瑞巖寺で写経、ニッカウヰスキー工場の見学と試飲等、山形では居合体験や山伏と羽黒山散策等を行ってまいりました。一番印象に残ったコンテンツを確認したところ和太鼓体験の声が多く、コンテンツ自体の魅力もさることながら主催者の熱心な活動に共感されておりました。参加者からは、富裕層向けにオーダーメイド手配する際の知識向上となったと大好評でした。



【斎理屋敷和太鼓体験】



【居合体験】

在日ベトナム人インフルエンサーの招請を行いました（2020年10月22日～27日）

ベトナム市場の訪日関心層をターゲットに、東北は新型コロナウイルスの感染者が比較的少なく、ベトナム人が大好きな「紅葉」が素晴らしいエリアであることを発信し、認知度向上と誘客促進を図ることを目的に在日ベトナム人インフルエンサー・カメラマン計2名の招請を行いました。

青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県を周遊し、インフルエンサーには紅葉はもとより、温泉やこけしの絵付けなど、東北ならではの魅力を存分に体験していただきました。



【銀山温泉】



【角館 人力車・秋田犬】



【津軽こけし館】

在日欧米メディアの招請を行いました（2020年10月14日～16日）

新型コロナウイルスの影響で海外から記者を招請できないなかで、国内在住の「Tokyo Explorer」のカメラマン1名を招請し、本招請で取材した内容をCNNへ情報提供することでCNNへの掲載を目指すという、コロナ禍でも実効性のあるプロモーションを展開しました。

今回の行程では、清潔・安全な日本の列車旅をテーマに「リゾートしらかみ」沿線の観光地を中心に招請を実施しました。特にリゾートしらかみ内での三味線演奏が大変好評で、乗客が集まり、手拍子など言葉が分からずとも日本文化に参加できるシステムがあるのが良い等と高評価を得ました。

引き続き、コロナ禍においても実効性のある事業を実施してまいります。



【リゾートしらかみ】

在日タイメディア・インフルエンサーの招請を行いました（2020年10月26日～31日）

新型コロナウイルス感染拡大の影響があつても、なお訪日意欲が高いタイ市場の一般消費者に対し、本来であれば多くのタイ人旅行者が訪れる紅葉時期の東北の魅力を発信することにより、ポストコロナの旅行先としての東北の認知度向上を図ることを目的として、10月26日から31日の日程で、日本在住のタイ現地メディアライターやインフルエンサー計5名を招請し、北東北3県及び仙台市の紅葉の名所スポット等を取材する招請事業を実施しました。

北から南、高い山から街中まで様々な紅葉の名所を取材したことで、多様で美しい東北の魅力を幅広く発信することができ、また、本国でも多くの一般消費者に支持されているメディア・インフルエンサーによる取材だったこともあり、中にはFacebookで1万いいね！を超える等、大きな反響もありました。今後も東北のハイシーズンの魅力を絶え間なく発信することで、観光客の往来再開後の早期のタイからの誘客回復につなげてまいります。



【取材の様子】

台湾ATT台中国際旅展JNTO日本ブースに出展しました（2020年10月23日～26日）

台湾で開催されたATT台中国際旅展のJNTO日本ブースにて、東北観光をPRするパンフレットの配布や東北の魅力を伝える美しい動画を放映したほか、ステージイベントを実施し、東北のプロモーションを展開しました。

今後、12月に台湾で開催されるKTF高雄旅行公會国際旅展においても、JNTO日本ブースにてパンフレットの配布やPR動画の放映、ステージイベント等を展開し、コロナ禍からの早期脱却に向け、東北観光のプロモーションを最大限展開してまいります。



【ステージイベントの様子】

関東地区公立中学校修学旅行委員会 第2回研究協議会等に参加しました（2020年10月6日、10月27日）

教育旅行について連携を行っている「関東地区公立中学校修学旅行委員会」よりお声掛けいただき、第2回研究協議会等に参加いたしました。

会議では東観推より、東北全体でSGDs学習（岩手県・宮城県・福島県では震災学習）を特に推進していること、教育旅行ホームページ「東北まなび旅」における特設ページの開設やモデルコースの紹介等を行いました。

以前より他のエリアから東北への方面変更を検討していた学校もありますが、栃木県などではコロナ禍により更に東北への関心が高まっており、実際に修学旅行を東北に変更した学校もあったとのお話をいただきました。

今後も、東北への方面変更を図るべく、東北6県・新潟県の教育旅行の魅力や、コロナ対策の説明など、教育旅行の関係団体への情報提供やアピールを進めてまいります。

第2回フェニックス塾を開催しました（2020年10月15日）

今年度第2回「フェニックス塾」を山形市の山形テルサにて開催し、33名の塾生が参加しました。第一部セミナーでは、（株）ジェイアール東日本企画代表取締役社長原口氏をお招きし、震災後の東北の観光復興に携わった経験をもとに東北観光の今後の在り方にに関するお話をいただきました。第二部ワークショップでは、「コロナ禍をふまえ、東北地域に国内外からの旅行者を誘致するには」をテーマに、グループに分かれて東北の課題についてディスカッションしました。

【第一部】セミナー

講 師：原口 宰氏（（株）ジェイアール東日本企画 代表取締役社長）

テーマ：「東北の観光を考える～震災からの復興～」

【第二部】ワークショップ



【原口社長によるセミナー】

